

地球社会基盤学専攻	研究分野	防災・復興学	Lab. ID
			GC26
研究室Webサイト	準備中		
研究課題の概要			
■ 研究概要 本研究室では、「防災 × 復興 × 地域おこし」の融合を通じて、災害後の地域を単なる復旧にとどまらず、持続可能な形で再生することを目指します。 特に、能登半島を中心とした被災地域において、地域固有の文脈を踏まえた復興支援のあり方を探求します。 ■ 主な研究テーマ ・ 自然災害からの地域安全性の向上（災害リスク評価・制度設計） ・ コミュニティの持続性を支える社会インフラの整備（道路・ライフライン） ・ 社会インフラを活用した地域活性化（地域資源の再編・住民参加型計画） ■ 研究手法・特色 ・ 制度・社会システムの構造的分析（制度・政策の検証と展開） ・ 地域調査・フィールドワーク（能登半島を中心とした現地調査） ・ 公的データの批判的検証と可視化（統計・GIS・解析）			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
■ 研究指導 ・ 地域課題に応じた研究テーマ設定を学生と相談しながら構築 ・ 個人ゼミ: 週1回以上の個別相談機会を設け、研究の進捗を支援 ・ 研究室ゼミ: 月1回の全体ゼミで知見共有と議論を実施 ・ 勉強会: 必要に応じて、制度分析・技術検討などのテーマで開催 ■ カリキュラム・履修支援 ・ 履修可能科目の中から、発想力・分析力を高める科目を個別に検討			
研究室生活の紹介等			
・ 自主性を尊重し、計画的な研究活動を推奨 ・ 現場重視の姿勢から、能登半島を中心に現地調査の機会を提供 ・ 地域コミュニティとの交流（雑談・飲食・生活体験）を通じて、実践的な理解を深める			
教員からのメッセージ			
「新しいことに挑戦する」——それが私のモットーです。 未知の課題に向き合い、柔軟な発想と実践力をもって、共に新しい地域の未来を切り拓いていきましょう。			
研究室連絡先メールアドレス	nobuoka *at* staff.kanazawa-u.ac.jp		

